

令和５年度第１回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	令和５年８月１９日（土） 午後１時３０分 ～ 午後３時３０分	
開催場所	加茂文化センター 研修室１・２	
担当議員	班代表者	山本 和延
	司会者	山本 しのぶ
	報告者	小見山 正
	記録者	柴田 はすみ、森本 隆
	班員 (上記以外)	高岡 伸行、宮嶋 良造
参加人数	１６人	
主な質疑・意見等	Ｑ：２０歳以下の方に議会のことを知ってもらう努力が必要ではないか。選挙管理委員会と論議はあるのか。若者への出前授業等、議会が努力するべきだと思うが、皆さんの考えは。 Ａ：議会としても高校生議会等を検討してきた。コロナ禍により実現していないが、前向きに考えていきたい。 Ｑ：市長に申し入れに行ったが、部課長が対応してくれた。市民の声を聞こうとしているのか。市長に直接会って話を聞きたい。市長には直接会えないと言われたのが残念。税金の使い道に文句もいえない。 学校給食は全国的には無償化の取り組みがされている。子育て世代を応援するために市も取り組んで欲しい。体育館のエアコンは進んでいるのか。 Ａ：市長に要望があったことを伝える。 Ｑ：キャッシュレスポイント、商品券は課題を明確にして欲しい。 みんなが使えるものにしてほしい。 Ａ：他の支払い方も要望していたが、手数料の関係で実現しなかった。 キャッシュレスを使っていない方は、商工会の商品券を使って欲しい。 Ｑ：ごみ袋の件 市の取組は有料ごみ袋を続けたい。毎年、５０００万円を積み立てているがどう考えているのか。	

A：基金累計約３億円、審議会で使い道を検討している。

ゴミ減量提案があれば協議される。今後も引き続き審議会で検討していく。

Q：会派構成、政務調査費の件

頑張る方を応援したい。政務調査費、広報費、資料作成費の１万円を２万円に上げてもいいのではないかと。政務調査費の使い方を聞きたい。

A：出席議員毎に説明。主な使い方は、会派広報誌、研修費、図書費等に使用。

Q：加茂の都市計画道路になぜ新築を許可したのか？

A：市に確認する。

Q：温暖化により水害が多くなっている。食料問題、防災、食料不安定、京都府亀岡市学校給食では有機野菜を導入している。市の有機農業と温暖化対策は。

A：有機農業は、化学肥料５０％以下が定義だ。有機をやると、生産量が減る。そうすると、食料自給率が下がる等の課題があり、大変難しい。
今後、検討していくべきもの。

<その他意見>

○一般質問をしない議員がいるのは問題なので、９月議会にはしてほしい。

○過疎地域指定、副市長２人以内とまちづくりにどう繋がるのかわからない。

また、学校再編について、城山台小学校人数多すぎる。

管理職だけでなく、教職員も議論に参加させてほしい。

○水道事業管理者、山城病院の管理者等いないのではないかと。

副市長は一人でもいい。

○過疎対策事業債の論議、瓶原土地改良区で、農業水路対策を要望している。過疎対策の特定財源を使うことになっている。事業費５４００万円、７０％補助金。３２０万円が瓶原土地改良区、５２０万を市が負担。担当課からは説明を受けていない。建設部と財政課が相談できていないのではないかと。旧加茂町に対しての取り組みをお願いしたい。過疎債を何に利用するのか見えてこない。負担増加がないように議会、市役所、改良区の協議の場を設けて欲しい。改良区の負担減の協議をしてほしい。

○府道天理加茂木津線、勝手神社付近の土砂崩れの対応が遅い。

	もっと迅速な対応ができないのか。 ○過疎債の使い方については、市民の意見を聞いたのか。 団体、現場の声を聞いてほしい。社会はトップダウンじゃなくてボトムアップの時代に入っている。
主 な 質 疑 ・ 意 見 等	
質問・要望等で行政側へ報告すべき内容	○市長が現場の意見を聞く機会を設けて欲しい。 ○過疎債の対応について、市の各部署での対応含めて統一されていないように感じる。もっと、旧加茂町のために、過疎債が使えるように、市民の意見を聞いて欲しい。 ○マイナポイント事業は、みんなが使えるものにしてほしい。 ○加茂の都市計画道路になぜ新築許可したのか、説明が必要。
そ の 他 特 記 事 項	

上記のとおり、報告します。

令和5年9月8日

木津川市議会議長 長岡 一夫 様

令和5年度第1回議会報告会

第2班 代表者 山本 和延